点灯順序

引きひもの操作をすることで次の点灯順序となります。

2 灯 全 光 → 2灯調光点灯 → 保安球点灯 → 消 灯

●壁スイッチのみで使用される場合は、時々、引きひも(プルスイッチ)での操作を行なってください。
長期間、引きひもでの操作を行なわないと、スイッチの接点が酸化し接触抵抗が高くなり熱を持ちますので故障することがあります。

使用上のご注意

この器具は、FHC27、FHC34専用器具です。従来のFCL30、FCL32、FCL40は使用できません。

■壁付調光器のある回路では、使用できません。照明器具が故障します。

■ランプ交換の際には、必ず指定の蛍光ランプをご使用ください。

■冬場など、周辺温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。

■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。

■ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。

■インバータ照明器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。

器具のはずしかた

ランプ交換の際は、NEC蛍光ランプ・ホタルックスリムをご指定ください。

必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。

■カバーの外しかた
カバーを左に回してください。

カバーは無理にはずさないでください。カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

■ランプの取り付け、取り外し

消灯直後は高温になっていますので注意ください。

ランプソケット又はインバータケースの表示に従ってランプを取り付けてください。
ランプの口金は、多少動くようになっておりますが無理に回さないでください。
ランプ交換の際は、ランプホルダーで強く弾かないでください。

■電源の外しかた
右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

■本体の外しかた
本体中央部のレバーを矢印方向へ引いてください。

■アダプタの外しかた
アダプタの赤いボタンを押しながら矢印方向に回してください。

注意

※ボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

スリム形蛍光ランプの特徴

器具に添付していますスリム形蛍光ランプ(FHC=高周波点灯専用環形蛍光ランプ)は、次のような特徴があります。

◎FHCは、ガラス管径16mmスリムで、省資源・省スペースおよび、器具の薄型化を可能にした、長寿命な蛍光ランプです。

◎このランプは、発光効率を向上させるために、片側の電極(ランプマークが表示されていない側)に通常より背の高い特殊な電極を採用しています。このためランプマークが表示されている側より、ランプ点灯時の影で若干暗くなっています。

◎ランプ点灯初期に、明るくなるまで少し時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。約10分程度で明るくなります。

故障?と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。
下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店にご相談ください。
なお連絡されるときは器具の形式名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。形式名は器具本体部の器具ラベルに表示しています。

故障の状態	主な原因
蛍光ランプが点灯しない	蛍光ランプがランプソケットに正常に取り付いていない。
	蛍光ランプの寿命
保安球が点灯しない	保安球の寿命
	保安球のゆるみ

故障の状態	主な原因
いずれも点灯しない	照明器具の壁スイッチがオフになっている。
照明器具を操作できない	照明器具の壁スイッチがオフになっている。
	照明器具のランプが切れている。

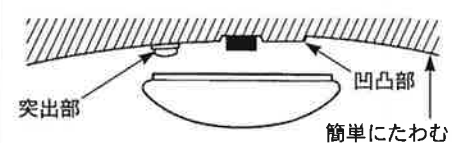
NEC 照明器具

保証書添付 保存用 **取扱説明書**

●このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
●取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
●取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

次の配線器具は、出しろを確認してください。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

取付上のご注意

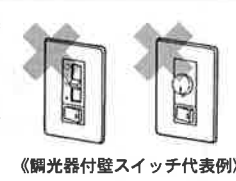
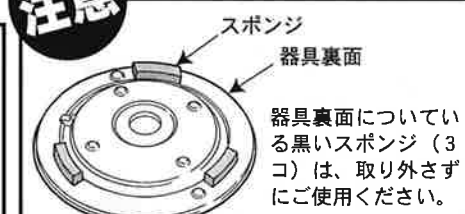
壁付調光器のある回路では使用しないでください。

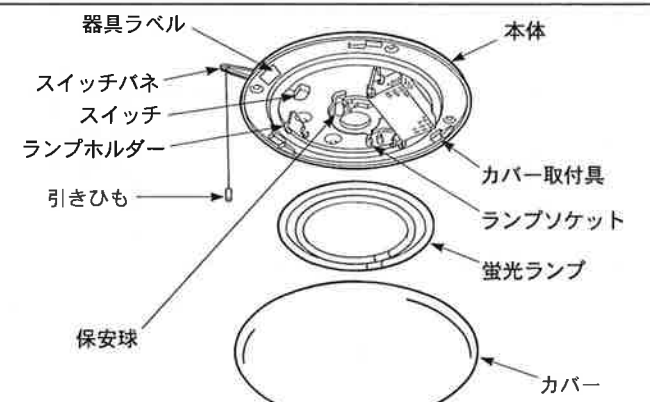
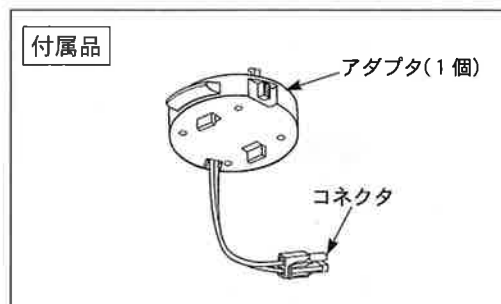
注意

本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
(調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)

注意

スポンジ
器具裏面

器具裏面についている黒いスポンジ(3コ)は、取り外さずにご使用ください。

各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります

定 格

形 式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	使用蛍光ランプ	使用保安球	始動方法
27形+34形 (弊社形式:9LK***)	AC100V	50Hz/60Hz	72W	FHC27 FHC34	E12なつめ球 (5Wまで)	インバータ式

NECライティング株式会社
東京都港区芝1-7-17
〒105-0014 http://www.nelt.co.jp/

<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00〜12:00 13:00〜18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-6746-1521

※この紙は再生紙を使用しています

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

1. 天井の引掛シーリングを確認する

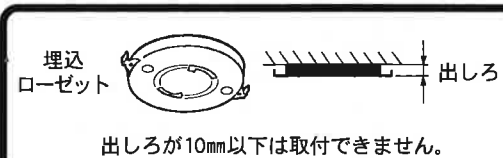
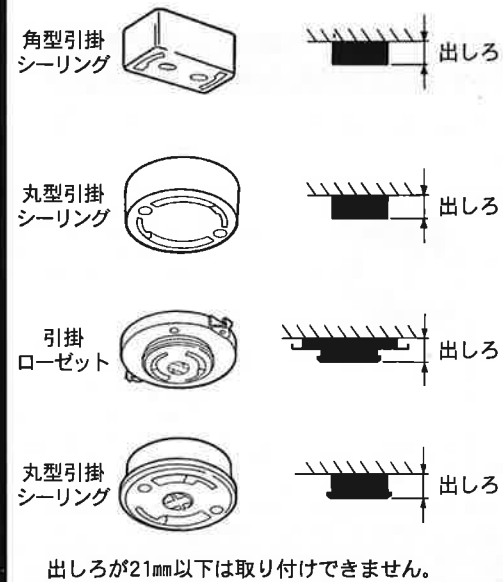
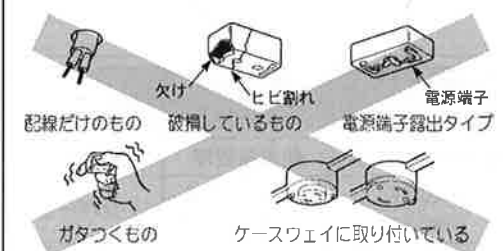
取り付け可能な引掛シーリング

・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。（ガタつきや破損がないことを確認して下さい。）

重要ポイント

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。

出しろが21㎜以下は取り付けできません。

出しろが10㎜以下は取付できません。

取り付けできない引掛シーリング

取り付けるする際は、必ず上図の取り付け可能な引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。

（引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けないで下さい。器具が落下する恐れがあります。）

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告
落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

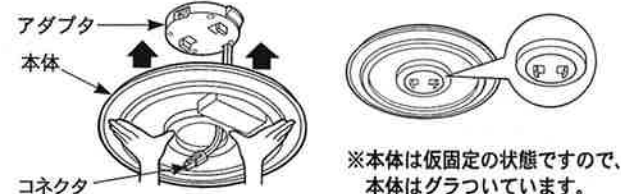
3. 本体を取り付ける

①スイッチバネの取付
スイッチバネを横に倒し、引掛部にスイッチバネを引っ掛けてください。

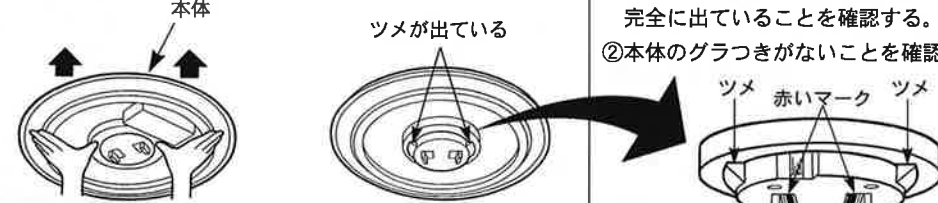
②ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。

ランプソケット
ランプ

③1段押上げ（仮固定）
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。

⚠警告
まだ本体の取り付けは不完全です。
この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

④2段押上げ（取付完了）
さらに強く押し上げる。

要チェック
①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

2. アダプタを取り付ける

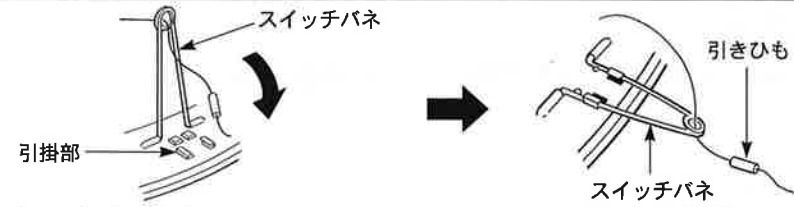
アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

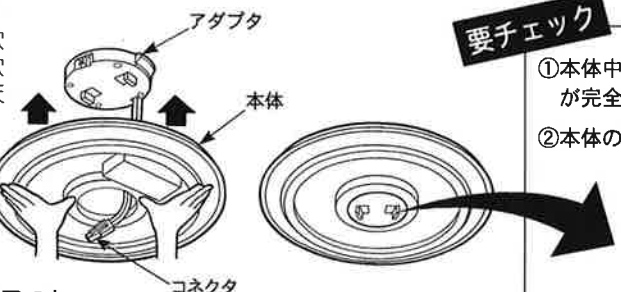
取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告
落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

①スイッチバネの取付
スイッチバネを横に倒し、引掛部にスイッチバネを引っ掛けてください。

②ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。

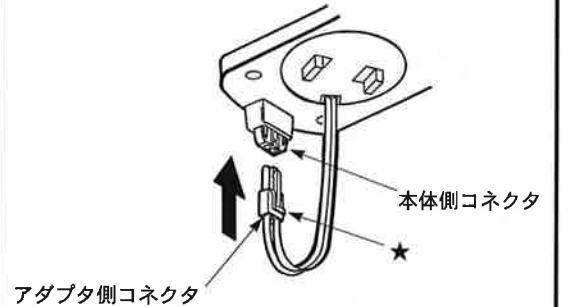
ランプソケット
ランプ

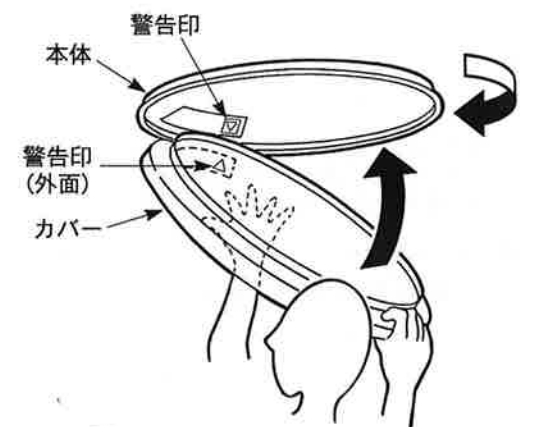
③1段押上げ（取付完了）
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

アダプタ
本体
コネクタ

要チェック
①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。

5. カバーを取り付ける

重要ポイント

本体の警告印(⚠)にカバーの警告印(⚠)を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。

カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。「3. 本体を取り付ける」に従って、本体の取り付け(押し上げ)を確認してください。

⚠警告 **落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。